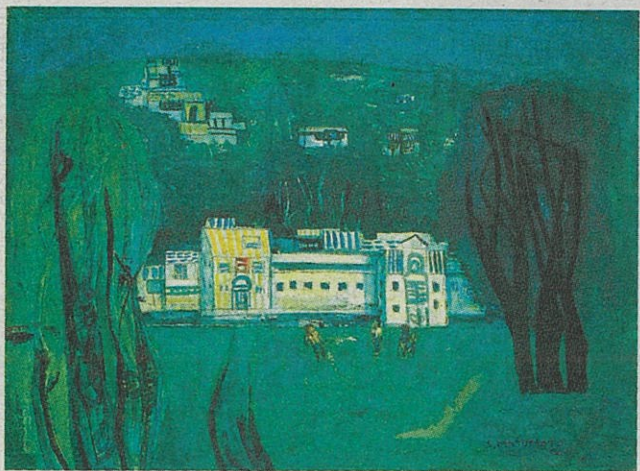


文化・芸術

「郊外」

1937年8月、油彩、板
97・0cm×130・0cm

(宮城県美術館蔵)



松本竣介 (1912~48年)

もえ出る青緑が込み上げてきます。平たく太く黒い線を並べ構成した「有楽町駅附近」(1936年1月)から、一年半後の作品です。

36年2月、竣介は結婚し下落合にアトリエ兼住居を構えます。竣介の住まいのある小高い丘の一角は、洋風な新しい家々がたち並ぶ住宅地でした。緑の深さとモダンな建物とが重なり合い同居する場所、そこそが竣介が暮らした郊外でした。

本作では、中央の白い壁の建物、両脇に大きくゆるやかに伸びあがる木立に包まれて犬と

〈名画の扉〉

大川美術館特集展示から

(小此木)